

定額負担金『バルクコース』の運用開始について

平成 13 年度(2001 年 4 月)より、現行の従量制負担金方式に加え、定額負担金方式の『バルクコース』を運用開始することになりましたので、その概要をお知らせ致します。

なお、本稿に記した『バルクコース』の負担金額、リソース制限値等はドラフト段階のものであり、また検討中の項目もありますので、詳細についてはシステム運用掛 (Tel:03-5841-2712) までお問い合わせください。

1. バルクコースの特徴

現行の「基本負担金月額 1,000 円/2,000 円コース」は一定量の CPU 時間やディスク容量が使用でき、越えた分については従量制で別途加算される方式です。従量制部分についてはそれ以上加算されない境界値が設定されています(2,000 円コースでの境界値は、CPU:5,000 時間超/月)が、定常的な大口利用の場合には結構な負担金額になります。

これに対し新たに運用開始する「バルクコース」は、ベクトル並列型スーパーコンピュータSR8000 について、1 ノードにつき年 96 万円定額(月 8 万円換算)のノード単位で申請する定額負担金方式で、1 ノードにつき登録 ID 数:10 ID まで、/home ディスク容量:20GB まで、CPU 時間については「個別専用キューによる申請ノード数の専有的利用」と「バルクコース共用キューによる + 」の CPU 配分が保証される負担金方式です。

新負担金コースの比較 (2001 年 4 月より)

	バルクコース	基本負担金コース
負担金方式	定額負担金(年間)	従量制負担金(月単位)
負担金額	1 ノード 96 万円/年 (5 ノード以上低減性あり)	基本 1 千円/月 + 従量制金額 または、基本 2 千円/月 + 従量制金額
利用可システム	SR8000/128 (OS:UNIX) *2	SR8000/MPP (OS:UNIX) *2 運用支援システム (OS:VOS3,UNIX) *3
リソース管理	グループ単位	ユーザー単位
NQS キュー	個別専用キュー(競合待ちなし) バルク共用キュー(競合待ちあり)	一般共用キュー(競合待ちあり)
利用対象	大口の利用者 研究プロジェクト/研究室等のグループ利用	小・中口の利用者

*1: バルクコース (SR8000/128 使用) と基本負担金コース (SR8000/ MPP 使用) では機種が異なるため、調達手続き時のベンチマークテストによる実効性能比 (SR8000/128 : SR8000/ MPP=1.0 : 1.5) を考慮して求めた時間。

*2: 2001 年 4 月より SR8000 が 2 システムとなるため、現行の SR8000 を SR8000/128、新規導入される SR8000 を SR8000/MPP と表記する。

*3: 運用支援システム (MP5800) で、現行と同じ VOS3 (m-vos.cc.u-tokyo.ac.jp) と UNIX (m-unix.cc.u-tokyo.ac.jp) も利用できる。

2. バルクコース選択の目安

選択の目安としては、月額 2,000 円コースで 2,300 時間*1 使用すると 80,000 円/月で、バルクコース 1 ノード 96 万円/年の月単価 (1/12) と同額になりますから、定常的にそれ以上利用される場合にはバルクコースが断然お得です。単独の大口利用者、あるいは研究プロジェクトグループ、学科・研究室等、複数人によるグループ利用にお勧めです。

(香田)